

荒砥城(新砥城)(千曲市上山田)(千曲市城山史跡公園)

この地の豪族で村上氏の一族の山田氏の居城であった。村上氏の本城、葛尾城の支城としての役割を果たしていた。

天文 22 年 (1553 年) には武田信玄により葛尾城が落城すると、武田氏に従った屋代政国の替え地として、荒砥城を与えられ屋代城から移った。

天正 10 年 (1582 年)、武田氏が滅亡した後は、屋代秀正は上杉氏に従い海津城の副将として遇された。しかし主将の山浦景国 (村上義清の息子) とはしっくり行かなかったようである。村上氏一族の中で最初に武田方に寝返った屋代氏は信頼されず、上杉景勝は稲荷山城を築いて監視していた。案の定翌年の天正 11 年 (1583 年)、秀正は徳川氏に通じたため上杉景勝に攻められ、荒砥城に火を放ち、徳川の下へ出奔して旗本となる。荒砥城は以降、廃城となった。しかし屋代氏出奔後の領地の一部は景勝の人質となっていた真田信繁 (幸村) の領地として与えられたとされている。

現在は千曲市城山史跡公園として整備されている。館や兵舎、櫓など中世の山城の雰囲気再現しており、平成 19 年 (2007 年) の大河ドラマ「風林火山」(ドラマでは海ノ口城として使用。)平成 23 年の大河ドラマ「江～姫たちの戦国～(小谷城として使用)のロケ地として使用されている。

戦国時代の武将、村上義清の配下として名を馳せた山田国政の居城。その山田国政は天文 20 年 (1551 年) 4 月、真田幸隆の策略によって、城代を務めていた砥石城において討死。

Wikipedia による

